

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

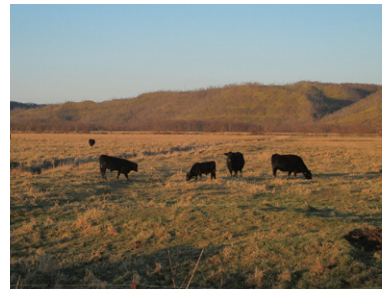
January 2020

## 十勝は正月

あけましておめでとうございます。なんと雪がない。越冬で積雪ゼロという異常事態。例年40cmある札幌でも同じカラカラの状態です。雪はねがないし、車は走りやすいですし、生活環境としてはすこぶる過ごし易いです。比較的例年より暖かく、風もない穏やかな正月でした。

でも畑が心配ですね。凍結深度が深くなり、春先なかなか解けづらいし、水不足が心配の種ですね。昨年も同じ現象でしたが今年はそれ以上です。年ごとに何か異常さを感じますね。

野生動物をよく見ます。キタキツネはふかふかの茶色い毛皮を着てポコポコ歩いています。タンチョウやへの字編隊飛行の水鳥たちが上空を飛び、ムクドリか中小鳥たちもやってきます。時間は冬至も過ぎ反転しましたが、これから今ひとつ乗り越える厳寒期が来ます。今年もよろしくお祈りします。



## 活動のお知らせ

1/末(金)~2月初め……道総研 畜産試験場 飼養技術研修会検討中

3/28(土)……………京都大学 日本産肉研究会 第25回学術会議

テーマ「生産・流通・消費・研究者みんなで新たな牛肉評価基準を考える」 招待講演の依頼あり

## NEWSばかり読み

- 9月時点 豚肉在庫量が最多 輸入物が多い  
12/2:EPA等輸入バランス壊れる
- 財務省 訪日客の入国関税申告書に肉製品のチェック項目追加  
12/3:今までなかったんだ
- 改正構造改革特区法が成立 農村移住促す 12/3:地方分散図れるか
- ホクレン雪印 苫小牧に肉乳牛向け新配合飼料工場起工  
12/4:事業統合進む
- 国会 日米協定承認 1月1日発効 12/5:拙速すぎる論議あったの
- 長野県 気候非常事態宣言 自治体で初 12/7:地方から発信必要
- 政府規制改革WT 畜舎建設基準の緩和検討  
12/7:何のために建設するのか
- 政府 アフリカ豚コレラの予防的殺処分の法改正検討 12/10:判断難しい
- 政府 35年度目標 和牛生産倍増目指す 12/10:アドバレン高過ぎ
- 新米販売が苦戦 消費支出額前年割れ 12/11:減戻しても追いつかず
- 農林水産省GFVC 有機JASなど日本独自認証の海外普及推進プラン策定  
12/11:
- ふるさと納税 4-9月自治体6割増 12/5:/11:規制あっても増加傾向
- EU 温室ガス50年ゼロに新環境政策発表 12/13:小泉さんは化石賞受賞
- 中国 アフリカ豚コレラ拡大で代替え牛肉高値 成長ホルモン未使用の豪州産と日本競合 12/15:牛肉の争奪戦が進む
- 農林水産省 国産食材でカロリー確保試算 夕食ご飯1杯と焼き魚1切  
12/16:やはり
- 20年度予算案 消費税収が20兆円法人税の2倍 最大の税目  
12/17:直接税増える

- 政府食品ロス削減で規格外品の安売り防止 フードバンクや加工推進  
12/17:多彩の方が
- 農林水産省 20年度予算2.3兆円 輸出・スマートを看板に  
12/18:実にしよう
- 豚コレラワクチン接種拡大 発生県周辺指定 12/19:止まらず
- 伊藤ハム 植物由来肉に参入 セブンイレブン ハンバーガー使用  
12/20:徐々に浸透
- ジェトロ EUとのEPAでお茶と牛肉の輸出に伸び 12/21:輸入は
- 北海道 昨年の捕獲されたヒグマが最多 12/24:街進出も
- 農林水産省 基本計画で小規模農家も含めた多様化施策へ  
12/24:使える補助策を
- 中国 来年1月から輸入食品関税引き下げ 12/24:中国の食品輸入国鮮明
- 農林水産省 豚コレラ表示を「豚熱」に名称変更へ  
12/25:イメージ変換できるか
- 厚労省推計 今年の出生数 90万人割れ  
12/25:少子化止まらず 一時の半分
- 宮城県 和牛DNA不一致で担当獣医師告発へ  
12/25:信頼性確保と実態把握
- 農林水産省 エコフィードで加熱基準の厳格化21年度から  
12/25:準備と把握
- 東京食肉市場 和牛枝肉相場A4 異例の低迷 12/26:消費の実態
- 大阪地裁 徳島の元牧場主に和牛遺伝子流出で有罪  
12/26:責任の所在とルール把握
- 新潟大・亀田製菓 幼少時の米飯で肥満抑制 12/27:哺育育成時牛と同じ
- 牛原皮相場が過去最低水準 供給過剰や消費減退 12/27:革靴履かないと
- 中国産GPS北斗 来年度完成 精度数センチ単位 12/28:はやり
- 政府 農家レストラン来年度から農地でも建設可能に 12/30:建てよう
- 牛肉輸出 11月時点で昨対22%増の263億円 12/30:一つの方向

## 東京直近NEWS (12/29 Shi-REPORT)

## ホルス

相場は横ばいからやや下げ基調の状況。  
年末の販売は、和牛上物に販売シフトから引き合い弱く相場も停滞で推移した。逆に年末年始の休暇長く、年始玉の流通は1/10以降により、年始初荷までの問い合わせ増。  
但し、全般動きは鈍くスモノとブリスケがひっ迫しているが他パーツは余裕ありの状況。

## 経産牛

経産牛相場は若干上げ下げあるものの、高値安定状況継続。  
出回り頭数にも増減あり相変わらず集荷に苦戦模様。  
引き材の在庫は慢性的に不足しており、輸入物の影響もあり問い合わせ増。  
パーツは落ち着き始めているものの、引き材の動向が不透明であり、今後も供給面に不安が残る。

# 左先生の畜産学研究NEWS

2020年は然災害のない穏やかな年であって欲しいと誰もが願っています。昨年はわが国では重大な台風被害の年でした。気候変動への取組、地球規模の温室効果ガスの削減対策などは時の政治とは別次元の問題と考えることが国際社会で主張されました。高品質な農産物を生産する日本は特に先進工業国として石炭発電の具体的な削減策が示されなかったことは大きな失望感を生みました。日本は影響力を発揮して農業の根幹となる自然環境と土地の機能を維持するよう行動すべきです。環太平洋TPP, EU-EPA, 東アジアRCEP, 南米メルコスル, など世界各地で経済連携や自由貿易が進む中で日本だけが鎖国状態とは行かず、関税だけが問題ではなく日本農業の特色である安全安心の農産物生産技術は国際食品安全規格の認証取得などで、外に出る農業への転換を図りたいものです。e-ビーふNews73号の学術情報は以下の通りです。

## 1. 畜産技術#775, 2019.12

1) 技術情報2: 簡易GPS首輪と活動量計の利用により放牧牛の行動を把握する(渡辺也恭; 西日本農研先端放牧G) 簡易なGPS(全地球測位システム)

首輪を開発し、放牧牛の滞在位置と行動の測定を効率化する試みを行いました。携帯型ロガー付GPS受信機と充電用バッテリーで構成した首輪は4.4万円の経費で11日間稼働で1分間隔の放牧牛の行動データが入手可能となり、採食・休息行動の判別などから草地・放牧管理に活用が可能と思われました。

2) 文献情報: 「子実用トウモロコシ生産・利活用の手引き」(都府県向け)第1版 農研機構

水田輪作の対象としての子実用トウモロコシの生産・利活用についての

手引きです。品種選定や栽培管理はWCS用トウモロコシと同様とされ、国産の汎用コンバインに専用キットを付けて子実を収穫し、肉用牛へは破碎処理が必要で屑大豆と併給して増体や肉質を維持して肥育できるとしています。

## 2. 日畜会報Vol.90, 4(2019.11)

牛ロース芯への新適応二値化処理を用いた画像解析によるBMSの判定(深谷芽依; 帯畜大) 牛枝肉断面の画像解析から脂肪交雑を評価する基本はロース芯内の輝度が高ければ脂肪、低ければ筋肉という識別の二値化処理です。黒毛和種牛の脂肪交雑の改良で筋肉内脂肪割合も増し二値化が困難の場合が増えて画像解析の領域や移動幅の細分化で新適応二値化処理を行い、その画像からの推定ではBMS区分推定法で算出した格付けの差は±1以内に96.4%が納まり、従来法よりも精度が高まりました。

## 3. 書籍紹介: 「土・牛・微生物」- 文明の衰退を食い止める土の話- デイビッド・モントゴメリー著 片岡夏実訳2018.9 築地書館

著者の「土の文明史」「土と内蔵」に続く3部作の完結編です。農業の歴史の過程で耕作不能な土地を生み出してきたという観点から土壌微生物と共生して不耕起栽培への展開を不耕起栽培実践農家の膨大な取材から確信し、主張しています。

# 国産牛 NEWS

## 基調講演. 「家畜の福祉と肉牛生産」 全4回シリーズ④

(株)グッドテーブルズ 山本 謙治 社長

**アメリカの肉牛もナチュラル系が躍進**

- ・ フィードロットで大量飼育する農家は「明日が見えない」状態。
- ・ 一方、1%前後のオーガニック&ナチュラル系の肉牛農家は、需要に応えきれない状態。
  - ホールフーズマーケットなどオーガニック小売の躍進
  - 肥育ホルモンに不安を感じる層の増加
- ・ アメリカWagyuなど付加価値のある肉牛が高値で売られる



**国際社会がサステナブルに舵を切ったSDGs**



**世界の潮流はグラスフェッド中心**



でも、、、日本には  
オーガニック&ナチュラルで  
売れる肉牛がほとんどいない。

↓

**HOBAの取り組みを  
拡大して欲しい!**

**シェフを集めたいわて短角牛の産地ツアー**

- ・ 首都圏・関西・西国のシェフや流通関係者が30人集まり、産地ツアーを実施。
- ・ 代表的な産地の牧野や肥育舎を視察。



**シェフを集めたいわて短角牛の産地ツアー**

- ・ 4産地の通常熟成の肉を食べ比べし、飼いの個体をふくむ2産地のドライエイジング肉も食べ比べ。テイastingシートを分析し産地にフィードバック。



転載・再利用は固くお断りします